

計画策定時の
現状と課題

- 農業産出額全国第4位
- 海面漁業漁獲量全国第7位
- 生産者の減少と高齢化
- 耕作放棄地・有害鳥獣被害の増加
- 森林の荒廃・放置竹林の拡大
- 水産資源の減少と魚価の低迷

取り巻く環境の変化

- 成田空港、圏央道等のインフラの充実
- 東京オリンピック・パラリンピックの開催
- 国際化の進展
- ライフスタイルの変化に伴う消費形態の変化と産地間競争の激化
- 生産環境の悪化
- 食の安全・安心への関心の高まり
- 県民にとってかけがえのない農山漁村

計画の期間

◆ 平成26年度～平成29年度
 ≪4年間≫

計画の性格

千葉県総合計画「新輝け！ちば元気プラン」を実現するための具体的な取組を示す

計画の目標

「農林水産王国・千葉の復活」と「農山漁村の活性化」を目指す
 ◆ 農業産出額全国第2位
 ◆ 海面漁業漁獲量全国第6位

計画の構成

主要な生産分野(5)

- 【園芸】
園芸産出額全国第1位の奪還に向けた「力強い産地づくり」の推進
- 【農産】
バランスの取れた早場米産地の競争力強化と落花生の生産振興
- 【畜産】
酪農経営の強化と畜産物のブランド向上
- 【森林・林業】
森林・林業再生による森林機能の維持増進と災害に強い森林づくりの推進
- 【水産】
収益力の高い漁業経営体への転換

消費者視点を重視した施策や、生産者を下支えする施策を横断的かつ戦略的に推進する分野(8)

○消費者視点を重視した施策

- 【販売促進・輸出拡大】
「千葉ブランド」農林水産物の販売促進と輸出の拡大
- 【6次産業化】
農林水産業の経営の多角化を進める6次産業化の推進
- 【食の安全・安心】
消費者に支持される安全・安心な農林水産業の展開
- 【農山漁村の活性化】
豊かな地域資源を活用した魅力ある農山漁村づくりと多面的機能の維持向上

○生産者を下支えする施策

- 【試験研究の充実】
試験研究機能の強化による高収益型農林水産業への転換
- 【担い手育成】
次代の農林水産業を支える多彩な経営者の育成
- 【基盤整備の促進】
生産性の向上や産地間競争力の強化に向けた生産基盤及び災害に強い農山漁村の整備
- 【耕作放棄地・有害鳥獣対策】
多様な人々の参画による耕作放棄地の解消と地域が連携した有害鳥獣被害防止対策の推進